

商業科学習指導案

令和2年10月 第2学年 指導者 松井 あゆみ

1 単元名 「財務諸表の分析」

2 学習指導要領上の位置付け

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 目標

財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（4/5）

(1) ねらい

収益性の分析・安全性・成長性の分析の違いを考え、適正に判断し、グループ活動を通して説明することができる。

(2) 展開

学習活動 ○予想される生徒の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）>
1 導入：課題の提示 ・本時の目標を確認する。	10分	○本時のねらいは、これまで学んだ知識・技術を活用して自分の考えを伝え合うことであることを伝える。
株式会社SUBARUの魅力は？ー財務諸表分析を通してー		
・財務諸表の整理をする。 ・財務諸表より本時の課題について考える。		○財務諸表の見方を説明し、財政状態や経営成績について確認させる。
2 展開①：習得した知識の確認と、自分の考えを伝え合うためのグループ学習活動の設定（ジグソー法①：同じ視点ごとのグループ活動） ー期間比較による財務諸表分析ー ・各分析方法で算出し（個人）、話し合いながら分析する（グループ）。 ー同業他社による財務諸表分析ー ・グループで協力して分析を行う。 分析結果の根拠を考える（個人→グループ）。	5分 5分	◎A班では安全性の分析について、B班では収益性の分析（利益の獲得能力）について、C班では収益性の分析（売上の効率性）についてのグループに分かれ、財務諸表分析を行い、解答の根拠について話し合うように伝える（各グループは、3・4名）。 財務諸表分析ができるように財務諸表から必要な会計情報を読み取り、整理している。<ワークシート（技能）>
3 展開②：習得した知識を活用して自分の考えを伝え合い、発表する過程で理解をより深める場面の設定（ジグソー法②：異なる視点ごとのグループ活動） ・展開①で話し合ったグループの分析結果と根拠をそれぞれ説明し合う。 ・説明し合った分析結果を基に、総合評価とその根拠、より魅力的な企業になる解決策を考える（個人）。 ・会社全体の状況をグループで話し合う	10分 5分 5分	◎A・B・C班がそれぞれいる一つの班で、分析結果を教え合うように伝える。 各グループは、3名。 説明時間は、各2分×3名。（計測） 聞き手は、メモを取りながら話を聞くように伝える。 ○班全体で、総合的に判断して企業の魅力と課題について班全体で行うように伝える。 財務諸表分析結果を基に、企業の状況やその原因を考え伝えることができる。<発言・観察（思考・判断・表現）>

<p>4 分析結果・根拠について確認グループごとに分析結果や根拠となる魅力と課題について発表する。</p>	<p>5分</p>	
<p>・発表後、本時の内容について、改めて企業の魅力と課題についてワークシートに記入し振り返る。</p>	<p>5分</p>	<p>◎各グループの発表から解答の根拠について、改めて考えることでより理解が深まるようにしたい。</p>

6 板書計画

目標「(株)SUBARUの魅力は？」(図1)

- ～11:05 財務諸表の整理 (図2)
- ～11:20 分析の確認【グループ①】 (図3)
- ～11:35 学習課題【グループ②】 (図4)
- ～11:45 発表
- ～11:50 振り返り

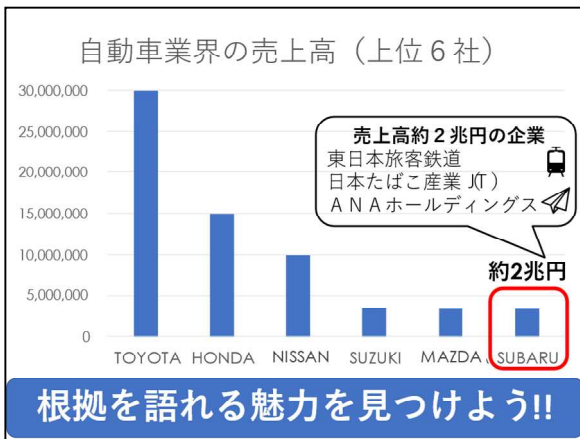


図1 スクリーン (授業の導入)

貸借対照表	前期 (2019年3月31日)		当期 (2020年3月31日)	
	金額	前年比	金額	前年比
流動資産	742,753	→ 798,444	798,444	→ 754,365
固定資産	66,997	→ 52,645	52,645	→ 66,997
純資産	66,997	→ 66,997	66,997	→ 66,997
負債	675,756	→ 731,447	731,447	→ 687,447
総資産	809,750	→ 851,091	851,091	→ 821,362

2019年度

流動資産
当座資産
固定資産

図2 スクリーン①導入：財務諸表の整理

株式会社SUBARUの財務諸表分析

活動①

- 1 期間比較 5分
- 2 同業他社比較 5分
- 3 (株)SUBARUの魅力と根拠 5分

活動② (違うグループ)

活動①の報告 1人3分

図3 スクリーン②展開①：分析の確認

株式会社SUBARUの財務諸表分析

活動②

- 1 活動①の報告 1人3分
- 2 (株)SUBARUの魅力は？ - 3つの分析より - 5分
- 3 (株)SUBARUへの提案 5分

発表

図4 スクリーン③展開②：学習課題

指導計画 商業科 第2学年 単元名「財務諸表の分析」(全5時間計画)

目標	財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。			
評価規準	(1)財務諸表の分析の意味と役割に興味をもち、さらに収益性・安全性・成長性の分析方法に関心を高め、その学習を積極的に進めることができる。(関心・意欲・態度) (2)財務諸表分析の方法に思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断することができる。(思考・判断・表現) (3)財務諸表の関係比率の分析を習得し、その表現のしかたを習得している。(技能) (4)財務諸表の分析の意味と役割、分析の方法を理解している。また、それぞれの分析の違いを理解することができる。(知識・理解)			
過程	時間	○ねらい 目標	・振り返り(意識)	評価項目 〈方法(観点)〉
つかむ	1	○財務諸表分析の意味・方法 ・財務諸表分析の意義・方法を理解させる。 〓これまで学んだ財務諸表の活用を考えよう。	・財務諸表の分析がなぜ必要なのか分かった。	・財務諸表分析の役割やその活用の意義に関心をもてる。〈観察(1)〉 ・財務諸表分析に関する基礎的・基本的な知識を理解している。〈ワークシート(4)〉
追究する	1	○関係比率法による分析 ・①安全性の分析、②収益性の分析、③成長性の分析について、その特徴を理解し、整理させる。 〓「関係比率法」による財務諸表分析をやってみよう。	・収益性の分析・安全性の分析・成長性の分析の違いを考え、算出方法が分かった。	・関係比率法に関する分析の目的と算出方法について理解している。各比率を算出することができる。〈ワークシート(4)〉
	1	○実数法による分析 ・実数法による比較貸借対照表及び損益計算書について、その特徴を理解し、整理させる。 〓「実数法」による財務諸表分析をやってみよう。	・実数法により、各財務指標の算出方法が分かった。	・資料を基に増減額を明らかにし、各財務指標を算出することができる。〈ワークシート(4)〉
まとめる	2	○財務諸表分析の実際 ・この単元やこれまで学んだ知識を活用して財務諸表から情報を読み取り、多角的に分析させる。 〓実在する企業について財務諸表分析をやってみよう。	・財務諸表や関係比率法の算出結果を基に企業について多角的に比較・判断し分析することができる。	・財務諸表分析ができるように財務諸表から必要な会計情報を読み取り、整理している。〈ワークシート(3)〉 ・財務諸表分析結果を基に、企業の状況やその原因を考察することができる。〈振り返りシート(2)〉